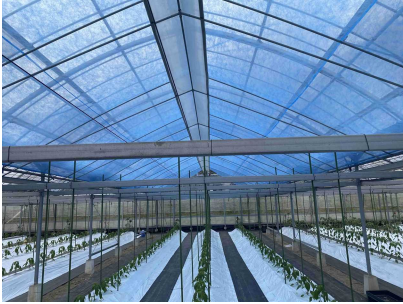


## 普及活動情勢報告（令和6年6月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

### 甘長トウガラシ尻腐れ症の課題解決に向けて ～青色不織布の実証ほを設置～



青色不織布の設置状況

5月2日、津野町桑ヶ市で、甘長トウガラシ施設に、尻腐れ症対策として青色不織布の実証ほを設置しました。

青色不織布による尻腐れ症の低減効果が他県で確認されていますので、その技術を参考に9月まで実証を行います。

農家からは、照度不足による花落ちを心配する一方、尻腐れ症対策として効果を期待する声がありました。

農業改良普及課は、今後、尻腐れ症の軽減効果について定期的に確認し、産地の課題解決に取り組めます。

### 米ナスの品質向上に向けて ～米ナス農家の巡回指導を実施～



米ナス農家に指導する普及指導員

5月20日、21日に、梶原町と津野町の米ナスほ場11戸を巡回し、生育状況の確認と今後の温度管理や病害虫防除について指導しました。

農業改良普及課は、ハウス内に設置しているスマート家電の温度推移を参考に、今後の温度管理について説明しました。また、生育初期に発生する害虫の早期防除について指導しました。

農家からは、「ハウス内温度が上がりすぎないように早めにサイドを開けるようにする」「害虫防除と併せて病気の予防も行いたい」との意見があり、温度管理や防除のタイミングなどが理解されました。

農業改良普及課は、今後も梅雨時期に発生しやすい病気についての情報提供を行い、病気対策の徹底を進めます。

### JA土佐くろしお管内の産地の発展のために ～JA土佐くろしお管内農業振興連絡協議会を開催～



活動計画を協議する普及指導員ら

5月22日、JA土佐くろしお本所で、JA、3市町、農業振興センターが、JA土佐くろしお管内農業振興連絡協議会を開催し30人が参加しました。

農業改良普及課の進行で、担い手の確保・育成、労働力確保、農福連携、販売促進、主要品目についての令和6年度活動計画を協議しました。また、IoPクラウドの推進、地域計画の取組み、災害発生時の体制等について情報交換しました。

活動計画が決まり、参加者からは「関係機関で手を取り合って課題解決に取り組んでいこう」と、力強い言葉がありました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して活動計画を実行します。

農家・関係機関の声を普及活動に ～第1回須崎地区農業改良普及推進協議会を開催～



普及指導計画書を説明する普及指導員

5月23日、須崎総合庁舎で、農業改良普及推進協議会を開催し、農家代表や関係機関15人が参加しました。農業改良普及課から、今年度の普及指導計画書について説明した後、担い手対策等について意見を交換しました。

参加者からは、SAWACHIについて「複数のハウスを所有している人には向いている」「ハウス内の作業時間が長いキュウリ農家は、温度等を肌で感じることができるので利用率が低いのではないかと」や、担い手対策について「新規就農も大事だが、中山間地域の高齢者が長く営農できるための支援も必要ではないか」等の意見がありました。

農業改良普及課は、参加者から出た意見を今後の普及活動に反映して課題解決に取り組めます。

搾汁用ユズの生産安定に向けて ～JA津野山ゆず部会現地講習会を開催～



資料を説明する普及指導員ら

5月29日、梶原町中の川、津野町宮谷のほ場で、講習会を開催し、生産者20人が参加しました。

農業改良普及課は、施肥管理の目安と適正施肥による増収効果について説明しました。

参加者からは、特定の肥料の連用による生育への影響について質問が出されました。

ほ場で開催することで、他生産者の管理状況や適期管理の重要性について理解が深まりました。

農業改良普及課は、今後もJA等関係機関と連携して、ユズの生産安定に向けて支援します。

高知で農業に関わってみんかえ！ ～梶原高校で出前授業を開催～



農業の魅力について説明する普及指導員

6月5日、津野山地域営農連絡協議会が、高知県立梶原高等学校で、1年生を対象に出前授業を開催し、生徒48人が参加しました。

農業改良普及課は、職業としての農業の魅力を伝えるために、農業の種類、最先端技術などを説明し、収入などに関する農家の声を紹介しました。

生徒からは、「1日何時間くらい作業するのか」「最先端技術を取り入れた場合、費用はどれくらい必要か」などの質問があり、農業への関心が高まりました。

農業改良普及課は、今後も同校の農業コース2年生を対象に、地域の栽培品目や、農業関係への就職・進学に関する出前授業を開催します。